

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-040113

(43)Date of publication of application : 08.02.2000

(51)Int.Cl. G06F 19/00
G07D 9/00

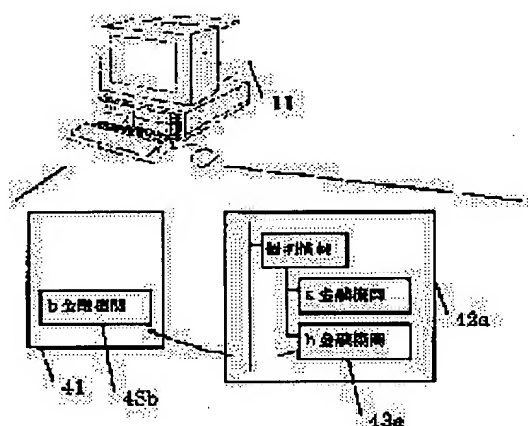
(21)Application number : **10-206086** (71)Applicant : **HITACHI LTD**
(22)Date of filing : **22.07.1998** (72)Inventor : **MIYATA TAKATOSHI**

(54) GENERALIZATION SYSTEM FOR HOME BANKING SYSTEM TERMINAL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To execute transaction with plural financial institutions with the same transaction information input program (CLS) running on a financial transaction terminal (PC) by changing the function and screen drawing of the CLS for every the financial institution of a transaction object according to individual information of the financial institutions of the transaction object.

SOLUTION: A CLS 41 develops individual information 43 of a financial institution (b) to be transacted with from a recording medium 42a and the individual information 43b is reflected to the operation of the CLS 41 to change functions and screen drawing capable of being executed by the CLS 41. The user quantity of a hard disk used on a PC 11 becomes the total size of the CLS 41, the individual information of the financial institution (a) and the individual information 43a of a financial institution (b). Further, values intrinsic to the financial institution (b) are set to respective information items to display the screen of the financial institution (b) different from the screen of the financial institution (a) when the financial institution (b) is made as the financial institution of the transaction object. Namely, the value intrinsic to each financial institutions are set to the individual information to exhibit features for every the financial institutions by the same CLS 41.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-40113

(P2000-40113A)

(43) 公開日 平成12年2月8日 (2000.2.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/30	Z 3 E 0 4 0
G 0 7 D 9/00	4 2 6	G 0 7 D 9/00	4 2 6 Z 5 B 0 5 5
		G 0 6 F 15/30	M
			C

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-206086

(22) 出願日 平成10年7月22日 (1998.7.22)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 宮田 高敏

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株式会社日立製作所ソフトウェア開発本部内

(74) 代理人 100068504

弁理士 小川 勝男

Fターム (参考) 3E040 BA20 FJ05

5B055 BB12 BB16 EE02 EE12 EE27

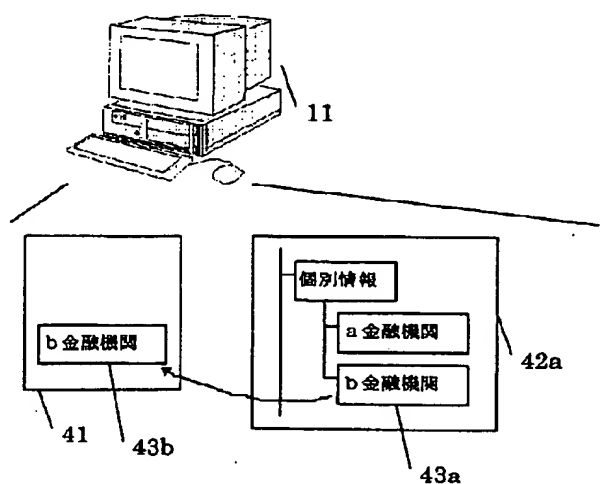
(54) 【発明の名称】 ホームバンキングシステム端末の汎用化方式

(57) 【要約】

【課題】 家庭用コンピュータを含む金融取引端末と金融機関のコンピュータとインターネットを含む通信手段により構成されるホームバンキングシステムにおいて、金融取引端末で動作する取引情報入力プログラムを汎用化しつつ金融機関毎の特徴を出す。

【解決手段】 汎用化した取引情報入力プログラムとは別に、金融機関毎の個別情報を持ち、取引する金融機関に応じて個別情報を取引情報入力プログラムに反映することで、利用できる機能及び画面の描画を金融機関毎に変更する。

図 4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 家庭用コンピュータを含む金融取引端末（以下PC）と金融機関のコンピュータ（WWWサーバ、業務サーバなど、以下HOST）とインターネットを含む通信手段（以下、通信回線）により構成されるホームバンキングシステムにおいて、PC上で動作する取引情報入力プログラム（以下CLS）を取引対象の金融機関の個別情報により、CLSの機能及び画面描画を取引対象の金融機関毎に変更できることを特徴とするホームバンキングシステム端末の汎用化方式。

【請求項 2】 取引対象の金融機関が複数ある場合に金融機関の個別情報をPC上に金融機関毎に持ち、取り引きする金融機関毎にCLSの機能及び画面描画を変更できることを特徴とする請求項 1 記載のホームバンキングシステム端末の汎用化方式。

【請求項 3】 取引対象の金融機関のHOSTに接続したときに、金融機関の個別情報をPC上に取り込み（ダウンロード、自動的な読み込みなど）、取り引きする金融機関毎にCLSの機能及び画面描画を変更できることを特徴とする請求項 1 記載のホームバンキングシステム端末の汎用化方式。

【請求項 4】 請求項 1 記載のホームバンキングシステム端末の汎用化方式により、ホームバンキングシステムにおけるCLSの機能（金融取引など）の追加変更を、CLS本体の変更をすることなく金融機関の個別情報と併せてプログラムを部分的に追加することを特徴とするホームバンキングシステム端末の汎用化方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、例えば銀行、郵便局などの金融機関が実施するホームバンキングシステムにおいて、PC上で動作するCLSの構造並びに、CLSの取引対象となる金融機関毎の特徴を金融機関毎の個別情報により実現することで、CLSを汎用化することに関する。

【0002】

【従来の技術】 現在のホームバンキングシステムにおけるCLSは、取引対象の金融機関毎に個別のCLSとなり、金融機関毎の特徴は構造上CLSに含まれる。

【0003】 このため、ホームバンキングシステムを開発する際、金融機関毎に個別のCLSを開発する必要がある。その結果、CLSの開発期間がかかり、CLSの開発コストが上がる。また、CLSの機能及び画面描画などを変更する場合CLSの作り直しとなるため、CLSの機能追加や画面描画の変更を容易に行うことが出来ない。

【0004】 また、取引対象の金融機関毎に個別のCLSとなることから、複数の金融機関を取引対象とするPC上には、各金融機関毎個別のCLSが存在する。その結果、PC上の記録媒体の使用量はCLSの数（取引対象の金融機関の数）分使用することとなる。

【0005】 仮に、単一のCLSにより複数の金融機関と取引を実施できるCLSでは、金融機関毎の特徴をCLSの画面上に表すことが出来ない。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来技術では、金融機関毎に開発するCLSの開発コスト及び、CLSの機能追加や画面描画の変更の容易性及び、取引対象の金融機関のCLSを同一PC上に置いた際の記録媒体（ハードディスク、フロッピーディスクなど）の使用量について考慮されておらず、CLSを金融機関毎に開発しなければならない問題と金融機関毎のCLSを同一PC上に持たなければならない問題があった。

【0007】 本発明の目的は、同一CLSで複数の金融機関との取引を実施することにある。

【0008】 本発明の他の目的は、同一CLSで取り引きする金融機関毎にCLSの機能と画面の描画を変更することにある。

【0009】 本発明の他の目的は、CLSに対する金融機関毎の機能追加及び画面描画の変更を、CLS本体に手を加えることなく行うことにある。

【0010】 本発明の他の目的は、同一PC上に単一のCLSと取引対象の金融機関毎の個別情報を持つことで、PC上の記録媒体の使用量を削減することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】 ホームバンキングシステムにおいて、PC上で動作するCLSを取引対象の金融機関の個別情報により、CLSの機能及び画面描画を取引対象の金融機関毎に変更できる発明を達成するために、CLS本体と金融機関の個別情報を分離させたものである。CLSが金融機関と取り引きする際、CLSは金融機関の個別情報を展開し、CLSの動作に金融機関の個別情報を反映する。

【0012】 取引対象の金融機関が複数ある場合に金融機関の個別情報をPC上に金融機関毎に持ち、取り引きする金融機関毎にCLSの機能及び画面描画を変更できる発明を達成するために、PCの記録媒体（ハードディスク、フロッピーディスクなど）上に金融機関の個別情報を金融機関毎に分類して格納させたものである。CLSが金融機関と取り引きする際、CLSは取引対象の金融機関を判別し、記録媒体から取引対象の金融機関の個別情報を展開し、CLSの動作に金融機関の個別情報を反映する。

【0013】 取引対象の金融機関のHOSTに接続したときに、金融機関の個別情報をPC上に取り込み（ダウンロード、自動的な読み込みなど）、取り引きする金融機関毎にCLSの機能及び画面描画を変更できる発明を達成するために、CLSが取引対象の金融機関のHOSTに接続したときに、金融機関の個別情報をHOSTから取り込み、PCの記録媒体上に金融機関の個別情報を金融機関毎に分類して格納させたものである。

【0014】 ホームバンキングシステムにおけるCLSの

機能(金融取引など)の追加変更を、CLS本体の変更をすることなく金融機関の個別情報と併せてプログラムを部分的に追加する発明を達成するために、CLS本体と金融取引を実現する機能を金融取引毎に分離させたものである。分離させた金融取引を実現する機能をCLSが金融機関との間で実施するかどうかは、金融機関の個別情報に入れる。

【0015】

【発明の実施の形態】この発明の一実施例を以下図面に基つて詳述する。図1はホームバンキングシステムのイメージ図を示し、家庭用コンピュータを含む金融取引端末(PC)11と、インターネットを含む通信手段(通信回線)12と、WWWサーバや業務サーバを含む金融機関のコンピュータ(HOST)13a、13bにより構成される。

【0016】図2はPC11の画面21の画面描画が取り引きする金融機関毎に変化することを示し、取引対象の金融機関が「a金融機関」の場合は画面22aを「b金融機関」の場合は画面22bをそれぞれ表示する。画面上の図形、文字列、メッセージなどの画面描画は取引対象の金融機関毎に変化する。画面描画を変更する情報は金融機関の個別情報として記録媒体(ハードディスク、フロッピーディスクなど)に格納する。

【0017】図3はPC11が実行できる金融取引(機能)が取り引きする金融機関毎に変化することを示し、取引対象の金融機関が「a金融機関」の場合は画面32aを、「b金融機関」の場合は画面32bをそれぞれ表示する。画面32aが示す「a金融機関」では、機能として振込、振替、残高照会を実行できる。画面32bが示す「b金融機関」では、機能として振込、振替、残高照会に加え住所変更を実行できる。実行できる機能を変更する情報は金融機関の個別情報として記録媒体に格納する。

【0018】図4はPC11上で動作するCLS41と記録媒体42a上の金融機関毎の個別情報の管理形態を示し、CLS41は取り引きするb金融機関の個別情報43aを記録媒体42a上から展開し、CLS41の動作に個別情報を反映(43b)し、CLSで実行できる機能及び画面描画を変更する。PC11上で使用するハードディスク使用量を図4を例にして示すと、CLS41とa金融機関の個別情報43cとb金融機関の個別情報43aのサイズを全て合計したサイズになる。従来技術では、a金融機関の個別情報43cとa金融機関用のCLS41とb金融機関の個別情報43aとb金融機関用のCLS41のサイズを全て合計したサイズになるので、本発明が従来技術よりハードディスク使用量を削減できることは明白である。PC11のハードディスク使用量を計算式にすると、本発明では

【0019】

【数1】CLSサイズ + (金融機関の個別情報サイズ × 取引対象の金融機関数)

となり、従来技術では、

【0020】

【数2】(CLSサイズ + 金融機関の個別情報サイズ) × 取引対象の金融機関数
となる。

【0021】図5は金融機関の個別情報の別管理形態を示し、同一記録媒体上に複数の取引対象の金融機関の個別情報を分別管理(図4の42a)するのではなく、記録媒体42b上に単一金融機関の個別情報のみを管理する形態である。

【0022】図6は金融機関の個別情報を動的に更新する方法を示し、CLS11が取引対象の金融機関のHOST13bに接続した際HOST13bから個別情報43cをPC11の記録媒体42aに取り込む形態である。

【0023】図7は取引対象の金融機関毎に個別情報43aをCLS41に反映する動作をフローチャートで示して説明する。PC11で金融機関との取引を開始してHOST13bと接続し、HOST13bに個別情報43cがあれば、個別情報43cを記録媒体42aに保存する(ステップ71~73)。取り引きする金融機関の個別情報43aが記録媒体42a上にあれば、個別情報43aをCLS41に反映してPC11の画面21に表示する(ステップ74~78)。尚、PC11上のCLS41で取り引きする金融機関に個別情報43aが必ずあるならば、ステップ74とステップ77は不要である。また、個別情報43cを取引対象の金融機関のHOST接続時に取り込む方式を使用しないならば、ステップ72~73は不要である。

【0024】図8は金融機関の個別情報の内容をa金融機関を例に示す。a金融機関の個別情報44は1個以上の情報ファイルで構成され、それぞれ画面情報81a、機能情報81b、メッセージ情報81cから成る。尚、81a~81cの各情報毎に別ファイルとせず、同一ファイル中に81a~81cの各情報を格納しても良い。各情報には細かく分類された情報項目(82a~82i)があり、各情報項目にはa金融機関固有の値を設定する。各情報項目に設定した値はCLSの動作に反映され、例えばa金融機関を取引対象の金融機関にした場合、情報項目82a~82cがCLS41に反映されてPC11の画面21上に画面22aを表示する。

【0025】図9は金融機関の個別情報の内容をb金融機関を例に示す。a金融機関の個別情報44と同様に、b金融機関の個別情報43aも1個以上の情報ファイルで構成され、91a~91cの各情報毎に細かく分類された情報項目(92a~92i)がある。各情報項目にb金融機関固有の値を設定することで、b金融機関を取引対象の金融機関にした場合、a金融機関の画面22aとは異なるb金融機関の画面22bを表示する。このように、個別情報に各金融機関固有の値を設定することで、同じCLSで金融機関毎の特徴を出す。

【0026】

【発明の効果】金融機関の個別情報により、CLSに金融機関毎の特徴を持たせることが出来る。このため、金融機関毎のホームバンキングシステム構築において、CLSの開発期間を削減でき、その結果ホームバンキングシ

テムを安価に構築できる。

【0027】また、CLSの機能追加及び画面描画変更を個別情報とプログラムの部分追加により、ホームバンキングシステムの取引内容の変更を容易に出来る。

【0028】CLSを置くPCには、取引対象の金融機関が増えても、PCには個別情報の追加だけとなるため、記録媒体の使用量を金融機関毎のCLSを持つよりも削減できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例であるホームバンキングシステムのイメージ図。

【図2】この発明の取引対象の金融機関毎に画面描画が変化することを示すイメージ図。

【図3】この発明の取引対象の金融機関毎にCLSで実行できる機能が変化することを示すイメージ図。

【図4】この発明の取引対象の金融機関毎の個別情報を記録媒体上に分類管理してハードディスク使用量を削減する方式のイメージ図。

【図5】この発明の取引対象の金融機関の個別情報を記録媒体上に単一金融機関の個別情報のみを管理する方式のイメージ図。

【図6】この発明の取引対象の金融機関の個別情報を動的に更新する方式のイメージ図。

【図7】この発明の取引対象の金融機関毎に個別情報をCLSに反映する動作を示すフローチャート。

【図8】この発明の取引対象の金融機関の個別情報の内容をa金融機関を例に表したイメージ図。

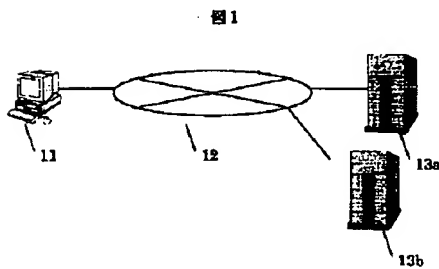
【図9】この発明の取引対象の金融機関の個別情報の内

容をb金融機関を例に表したイメージ図。

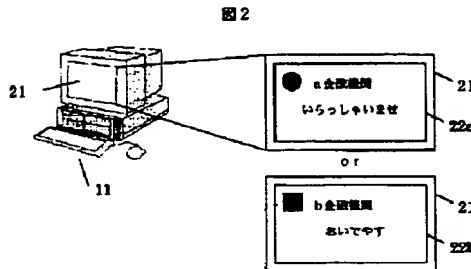
【符号の説明】

11…家庭用コンピュータを含む金融取引端末(PC)、12…インターネットを含む通信手段(通信回線)、13a…WWWサーバや業務サーバを含むa金融機関のコンピュータ(HOST)、13b…WWWサーバや業務サーバを含むb金融機関のコンピュータ(HOST)、21…PCの画面(ディスプレイ)、22a…a金融機関の取引画面イメージ、22b…b金融機関の取引画面イメージ、32a…a金融機関の取引一覧画面イメージ、32b…b金融機関の取引一覧画面イメージ、41…取引情報入力プログラムのイメージ、42a…記録媒体中の個別情報管理イメージ、42b…記録媒体のイメージ、43a…CLSに反映する対象の金融機関用の個別情報、43b…CLSに反映した金融機関用の個別情報、43c…取引対象の金融機関のHOST上にある個別情報、44…別金融機関の個別情報、81a…a金融機関の画面情報ファイル、81b…a金融機関の機能情報ファイル、81c…a金融機関のメッセージ情報ファイル、82a…82e…a金融機関の画面情報の情報項目、82f～82g…a金融機関の機能情報の情報項目、82h～82i…a金融機関のメッセージ情報の情報項目、91a…b金融機関の画面情報ファイル、91b…b金融機関の機能情報ファイル、91c…b金融機関のメッセージ情報ファイル、92a～92e…b金融機関の画面情報の情報項目、92f～92g…b金融機関の機能情報の情報項目、92h～92i…b金融機関のメッセージ情報の情報項目。

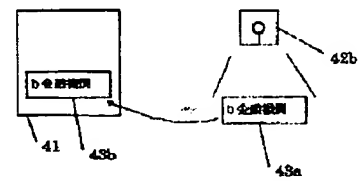
【図1】



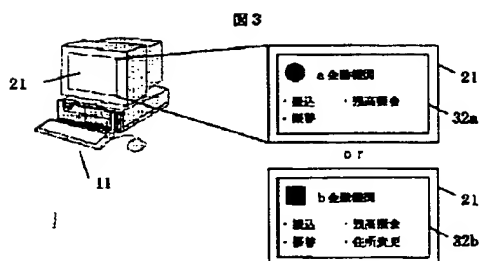
【図2】



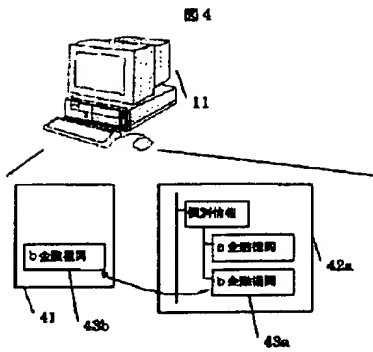
【図5】



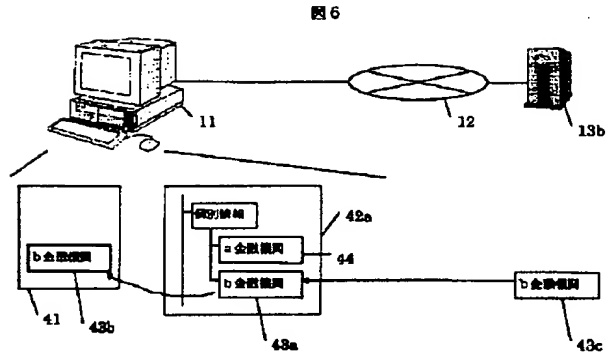
【図3】



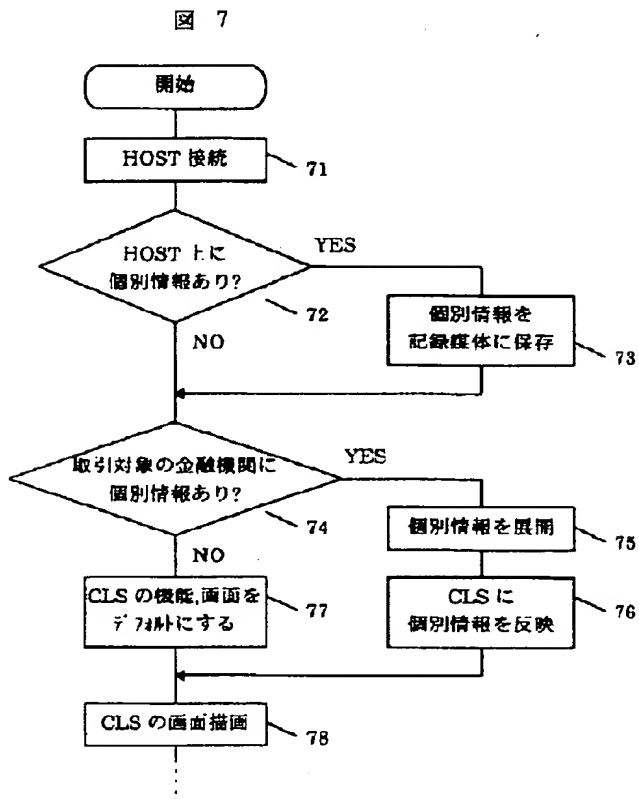
【図4】



【図6】

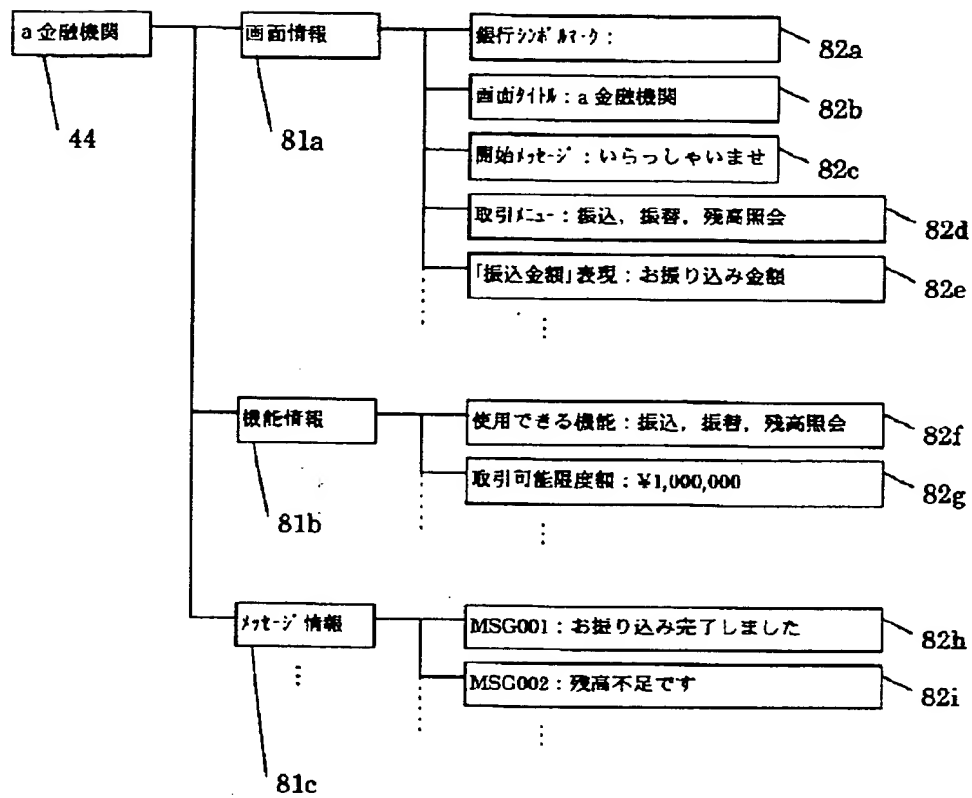


【図7】



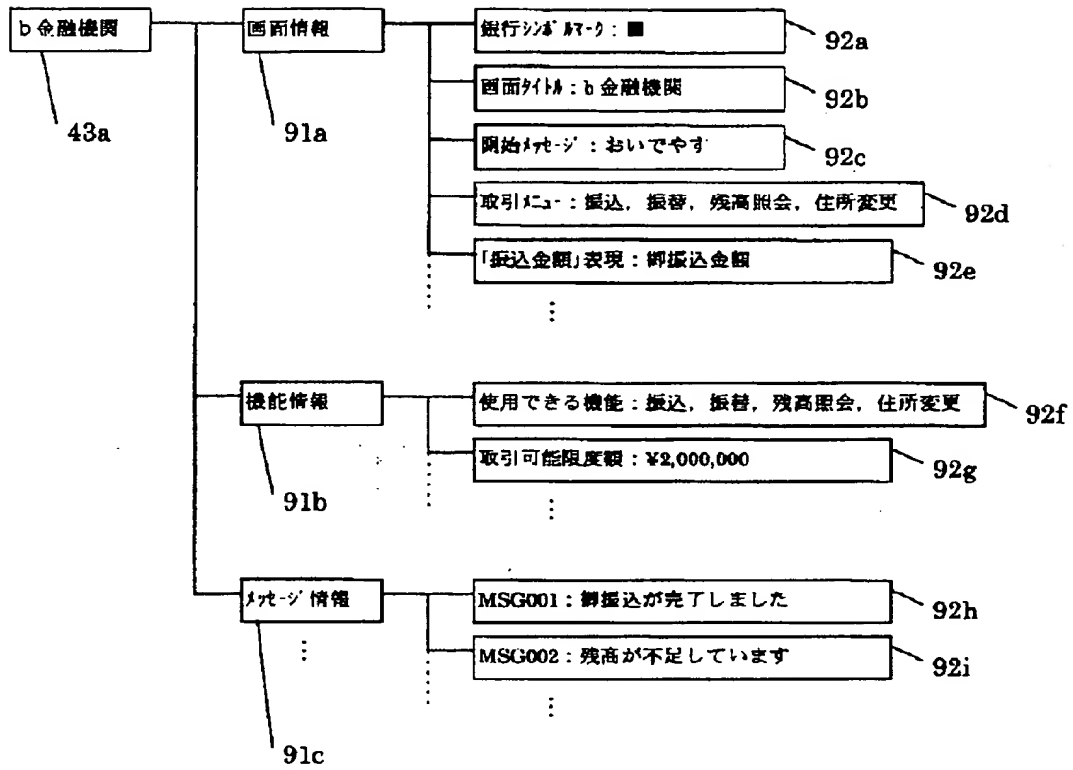
【図8】

図8



【図9】

図9



THIS PAGE BLANK (USPTO)